

第6回 LCIF 国際委員エリア・MD コーディネーター会議要録

日 時：2018年5月16日（水） 15：00～17：00

場 所：キャッスルプラザ（名古屋）

出席者：

LCIF 国際理事	L.鈴木誓男
LCIF エリアリーダー（東日本担当）	L.大石 誠
LCIF エリアリーダー（西日本担当）	L.榎本舜治
330 複合地区 LCIF コーディネーター	L.安達成功
331 複合地区 LCIF コーディネーター	L.小野寺眞悟
332 複合地区 LCIF コーディネーター	L.渡邊 豊
333 複合地区 LCIF コーディネーター	L.中嶋正昭
334 複合地区 LCIF コーディネーター	L.加藤助太郎
335 複合地区 LCIF コーディネーター	L.北畑英樹
336 複合地区 LCIF コーディネーター	L.橋本充好
337 複合地区 LCIF コーディネーター	L.増田敏雄
国際理事	L.中村泰久
LCIF 日本事務所所長	平岩ひろみ
LCIF 日本事務所職員	堀 郁世

議事進行： LCIF エリアリーダー L.榎本舜治

- LCIF 開発課課長クリストファー・プランケット氏とオセアル調整事務局局長マーズ佐子氏が、アワード伝達のため 16 時より出席。

報告事項：

1. 鈴木 LCIF 国際理事による挨拶および報告

- 最初に挨拶および MDC の尽力への謝辞あり。
- クラブ・地区シェアリングプログラムについて：
年間寄付額が、クラブは 5,000 ドル、地区は 10,000 ドルを超える場合、寄付実績の 15%を申請し、クラブまたは地区の奉仕活動に使用することができる。（※他、諸条件あり）2018年7月1日より申請受付開始予定。寄付に対するライオンズのモチベーションの向上が期待される。申請書等の書類は現在本部にて作成中。詳細については追って報告する。

- 来年度から始まる LCIF キャンペーンで、世界全体で 3 億ドルの資金獲得を目標とする。以下説明あり。リーダーの積極的な協力が重要となる。
 - ・リードギフト：MJF100 口以上寄付者
 - ・メジャーギフト：MJF25 口以上寄付者
 - ・モデルクラブ：キャンペーン期間中に一人当平均寄付額 750 ドルを達成するクラブ例) 年間 250 ドル×3 年=750 ドルを達成

2. 中村国際理事による挨拶およびキャンペーンに関する説明

LCIF キャンペーンの第五会則地域（オセアル）副委員長として挨拶あり。日本の目標は、今後 3 年間で 50 億円の寄付を集めること。キャンペーンの成功に向け、MJF 寄付や一人当たり寄付額 100 ドルの推進など、引き続き協力をお願いしたい。2017-18 年度の実績もキャンペーンの実績としてカウントされる。

3. 榎本エリアリーダーによる今年度の実績報告

2017 年 7 月～4 月 30 日までの寄付実績が報告された。各地区および日本全体の寄付額推移、目標達成率、対前年比増減率、クラブ寄付参加率、会員参加率、一人当り平均寄付額、他会則地域の状況などを確認。

前年比減の地区においては、潜在的な可能性があるため、各地区の状況に応じた計画作りが重要とのコメントあり。

4. MD コーディネーターによる活動報告

MD コーディネーター全員より、活動報告および今期の振り返りが行われた。また、担当地区における効果的な LCIF の PR 方法について意見交換が行われた。

5. アワード伝達

LCIF 開発課課長クリストファー・ブランケット氏より、これまでの功績を賞して各 MDC に楯が贈られた。また、各地区の実績に応じた LCIF 理事長メダルが MDC 全員に贈呈された。全ての複合地区がメダルを獲得しているのは日本のみ。

6. その他、キャンペーン関連

- リードギフト、メジャーギフトについて：

MDC 全員にリードギフト、メジャーギフトの誓約書が配布された。各複合地区において 3 名ほど推薦者を出してほしいとの要望あり。寄付の要請の前に、まず LCIF に協力する意義を伝えることが重要。（鈴木理事）

● モデルクラブについて：

申請用紙は後日配布。クラブ会長に説明の上、署名をいただいでほしい。7月19日に開催されるキャンペーン会議で地区ガバナーに説明をする予定。また、クラブ理事会・クラブ例会での説明を経て、クラブ全体が納得した上で進めていくなど、焦らずに進めていってほしい。(鈴木理事)

以前、LCIF キャンペーン・エリアリーダー研修会にて、事前に申請すると、ラスベガス国際大会にて表彰されるという説明があったが、厳密には表彰ではなく、第三総会でのクラブ名の発表となる。実際に達成されるまではアワードは交付されない。(マーズ局長)

一人当たり寄付額が100ドルに満たない、また会員の寄付参加率も低い地区も多い。アワードは、キャンペーンに参加していただくツールの一つとして捉えてもらい、取捨選択はリーダーらに任せる。(鈴木理事)

また、日本でキャンペーンを成功させるには、日本の事情を踏まえた独自の計画とその推進が必要ではとの意見がMDCより出された。

7. 次回会議日程

LCIF キャンペーン100会議 7月19日(木)9:00~開催予定

以上